

CSV 中間報告会のご案内

(公社)国際観光施設協会

会長 鈴木 裕

今年度の CSV 活動報告会を下記の要領で開催します。

さて、調査・研究・啓蒙活動を CSV(Creating Shared Value)の考え方をとりいれ「会員によし、協会によし、結果観光によし」のテーマで行っています。観光に対する社会の期待が大きく膨らんできた今、当協会も一層期待に応えるべく活動内容を充実させてまいり所存です。各テーマの活動コアメンバーからの報告と併せて、冒頭にセミナーを企画いたしました。多くの会員の積極的なご参加を願っています。報告会のあと懇親会も催しますのでお誘いあわせの上ご参加いただき親交を深めていただければ幸いです。

記

日 時：2019年10月9日(水) CSV活動報告会 16時 18時(受付15時30分から)

懇親会 18時 19時

場 所：丸の内2丁目ビル10F 三菱地所設計スタジオ

会 費：3,000円 当日受付にて申し受けます。釣銭の無き様よろしくお願ひ申し上げます。

【内 容】

セミナー

観光企画設計社 取締役専務執行役員 八木ヶ谷 則夫氏より注目の「The Okura Tokyo」についてショートレクチャーをしていただくこととしました。

1.旅館観光地分科会 川村晃一郎 分科会長

昨年度は、ホテルの生産性向上を目的とした、配膳ロボットの製作を行って参りました。今年度は同ロボットの実証実験と併行し、新たなテーマとして「データ活用による宿泊施設のコンシェルジュ化」を掲げ、活動をはじめました。昨今の外国人旅行者の増加はニュース等でご覧になった方も多いと思いますが、実際来日した旅行者の言語・観光情報面におけるバリアフリーは進んでいません。外国人に限らず旅行者が楽しみたい・経験したいと思う、ローカルな食事処、地域の街歩き、日本文化体験イベントなどは「街の掲示板」「口コミ」などでのみ提供されているのが現状です。数年後のありたい姿として、オーナーや女将(宿泊施設)がITプラットフォームを用いて、地域の食事・観光情報を宿泊者に提供するという、街・エリアのコンシェルジュ機能を宿泊施設が担うことで、宿泊施設が起点になって地域を活性化していくということをイメージしております。また、こういった情報がプラットフォームに入ることによって将来的にデータ分析にも利用できるようになり、宿泊業界はもちろん観光業界への好影響も期待しております。今年度は良い取り組みをされている施設へのヒアリングやITツールの導入実証実験を行い事例をつくり、来年度以降の実践的活動の礎にしたいと考えています。



行灯旅館様ヒアリングの様子

2.観光交流空間のまちづくり研究会 清水 聡 委員長

昨年度は「ホテル&リゾート分科会」の活動のひとつとして「たびむすび」「トレンド探偵」「クロストーク」の活動をおこなってきましたが、今年度は「観光交流空間のまちづくり研究会」の活動として、「クロストーク」と「トレンド探偵」の活動を行って



ます。クロストークは国際観光施設協会内外の方で、様々な興味深い活動を行っている方を招いて、プレゼンテーションを行っていただき、トークセッションを行うものです。今年も2回開催していますが、広く委員の皆さんからリスエストをもらって、皆さんが是非話を聞きたいと思う、魅力ある活動を行っている方に来ていただくと考えています。「トレンド探偵」は最新のホテル・旅館の見学はもちろんですが、それに限らず、まち、施設、人をキーワードに様々なトレンドを探索・研究したいと考えています。いずれの活動も観光やまちづくりに関する「今」を感じて、皆さんの仕事や知見に役立つような活動にしたいと考えています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

3.ホテル都市分科会 野出木貴夫 分科会長

昨年度は「旅館観光地分科会」も抱き込み「ホテル&リゾート分科会」として統合的な活動を試みましたが、参加委員も過大となり会議テーマが散漫になるなど別の弊害も出てきました。創造委員会での協議も重ね、発展的に分会させ、旧名「ホテル都市分科会」と



ホテルズ 2019 「木づかいのころ」と「巧みのころ」の展示

「旅館観光地分科会」に戻り、それぞれ初心に帰り活動を展開することといたしました。今後も活動テーマによっては連携・協調もあり得ますので、相互の委員の乗り入れも可能と考えたいと思います。「ホテル都市分科会」としては

昨年に引き続き「木づかいのころ - 美蓄木道」と「巧みのころ - 新UD 客室研究」を2本の軸として活動をすすめ、新たな展開にチャレンジしていきます。また観光メディアラボとして数年来連載を重ねてきました「ホテル・旅館のための安心・安全」の記事も相当数まとまってきましたので、来年には冊子として出版の予定で考えています。年度中間でも歓迎です、皆様の積極的な参加をお待ちしています。

4.インテリア分科会 安藤勢津子 分科会長

昨年11月ルーテル大学、今年5月には松濤美術館を調査した。三鷹にあるルーテル大学は1969年に村野藤吾が78歳の円熟期の作品で、チャペル・教育施設・宿舎などが修道院のように繋がり、周辺の緑と一体となった建築と内部空間の様々な光の表情は見ごたえがありました。チャペルから聞こえてくるパイプオルガンの音にしばし酔いしれました。渋谷の閑静な住宅



ルーテル大学

街の一角にある松濤美術館は白井晟一の設計によって1980年の竣工後、建材から発生する化学物質の影響に配慮して1年3か月の「枯らし期間」を経て1981年に開館したとのことでした。割り肌の石積みが迎え入れてくれるファサード建具と建具枠以外には「矩形」が見当たらないという空間が印象的でした。インテリア分科会では「感性を通して伝える日本らしさ」をテーマにしてこれまで重ねてきた伝統工芸の調査に加えて建築空間においてもその職人の技に着目しつつ五感を通して感じられる「日本らしさ」を切り口として調査・研究をしていきたいと考えています。



松濤美術館

5.エコ・小委員会 佐々山 茂 委員長

エコ・小委員会は4つのテーマを決めて各ワーキンググループで研究を進めています。見える化 インバータ 浴室設備 食器洗浄の4つのテーマは生産性の低い旅館のカイゼンキーワードとしての的を得ています。見える化は水、電気、重油などのリアルタイムの使用量をグラフでモニターに表示することでその時の作業の見える化につながります。インバータ設置は浴槽ろ過循環ポンプをその時の利用人数で、冷温水

循環ポンプは外気温の負荷の変化に対応することで無駄な電気を削減し、基礎電力を減らします。浴室は水と重油使用量の多い施設で運用を適正化し、地域エネルギーである有限な温泉を付加価値の増加に有効利用することを目指します。下膳から食器洗浄までの工程は水、電気、重油の無駄な使用が目立ち、労働生産性が大変低いことが分かっています。この4テーマはお客様一人当たりの水光熱使用金額を下げて「美しい利益」を増やすだけでなく、現在日本で問題になっているサービス産業の生産性向上や人手不足問題の解決策となります。エコ・小活動が分母の投入エネルギーを小さくすることで生産性向上に寄与するだけでなく、それから得られたもので分子の付加価値を増大させることで生産性向上につなげようと思っています。今回のCSV中間発表会で我々の活動の途中経過を報告します。



6.耐震研究会 川端 淳 委員長

耐震研究会では、ホテル・旅館の耐震改修の促進について、研究を進めております。昨年度は国と都道府県の耐震助成金制度を中心に調査を行い、ホテルショーでは、助成金制度の他、助成金を用いた耐震改修の事例を含めて展示を行いました。本年度は助成金の他に、耐震化を含む事業再生に幅を広げることを視野に入れ、事業継続性(BCP)としての耐震化問題の準備を行う方針としております。CSV中間発表会では、今年度活動の中間報告を致します。



ホテルズ 2019 展示状況

7.交流部会 崎山 茂 交流部会長

建築部会、インテリア部会、設備部会ではそれぞれ会員の情報吸収、情報交換と人的交流の場となるセミナーや見学会を継続的に開催しています。今年の前半には交流部会として4つの新しいホテルを見学する機会をつくる事が出来ました。後半にも各部会ではホテルに限らず、注目すべき施設の見学会を行なう予定です。建築部会では東京の水辺に観光資源を探る試みを継続し、6月には第4回目の水上セミナーを行いました。江東エリアのいわゆるゼロメートル地帯を中心に、低い橋桁を潜る体験をするとともに、工事が進む五輪施設を水上から眺めることができ好評を博しました。10月には、これまで見られなかった荒川ロックゲート付近の親水空間を体験し、河川の上下流域の関係をあらためて学ぶ機会としたいと考えています。



水上クルーズセミナー第4弾

8.ホテルズ実行委員会 浅野一行 委員長

ホテルズショーへの出展は、当協会のCSV活動の年間総括事業として、その活動を広く社会に知って頂くためのものです。今年度のホテルズショーは、いよいよオリンピックイヤーを迎えるとの開催となり、例年にも増して注目度は高まるに違いありません。開催場所は幕張メッセとなりますが、多くの会員企業の参加によって、CSV活動として有意義なものにしていききたいと思います。



ホテルズ 2019

公益社団法人国際観光施設協会 行

FAX 03-3263-4845

Email kankou01@syd.odn.ne.jp

令和元年度 CSV 中間報告会 参加申込書

日時：2019年10月9日16時 19時

場所：丸の内2丁目ビル10F 三菱地所設計スタジオ

会費：3000円/名

当日受付にて申し受けます。釣銭の無き様よろしくお願ひ申し上げます。

CSV 中間報告会へ参加希望します。

会社名							
所属 役職		氏名		TEL		Email	
所属 役職		氏名		TEL		Email	